

はじめに

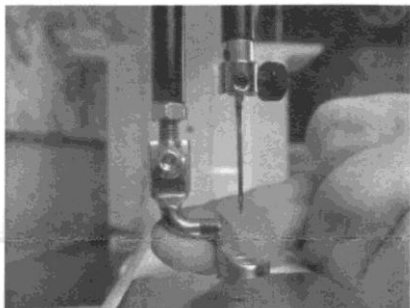
カウチング手法は糸の代わりに飾り糸、ヤーン、コード、リボンやその他のファイバーなどを使ってキルティングラインを描く手法です。このキットには三種類のサイズのカウチング押えが含まれています。それぞれ、使う飾り糸やヤーンなどの太さに合わせて使い分けてください。

このカウチング押えを使うには、ハンディキルターの変換式押えアダプターが取り付けられていなければ使えません。詳しくはお取り扱い代理店にお問い合わせください。

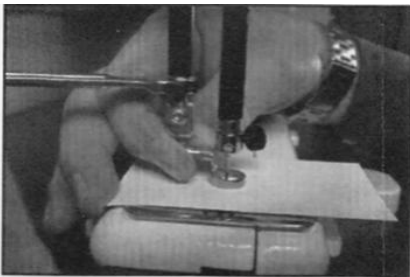
ここでは、押え金の交換方法と使い方を説明します。

カウチング押えを取り付けるには

1. まず現在付いている押えを 2.5mm の L 型六角レンチを使って、取り付けネジを緩めて取り外します。
2. カウチング押えを取り付けネジに合わせてはめ込み、押えを上へ押し上げながら、L 型六角レンチでネジをしっかりと締め付けます。



3. 押えをしっかりと取り付けたら、はずみ車を回して針を下げ、針が押えの穴の中心を貫通しているのを確認します。もし、何かの理由で針が押えの中心を貫通していないときは、スパナを使って押えホルダーを固定しているナットを緩めて押えの位置を調節し、ナットをしっかりと固定します。



メモ:この作業をするときは、1.5mm 穴のカウチング押えを使うと中心を合わせる作業が楽にできます。針を下ろす時ははずみ車をゆっくり回して針を押えに貫通させましょう。その後、他のカウチング押えも取り付けを確認しましょう。



## Handi Feet Couching Kit (QM00842)

### ハンディ・カウチング押え

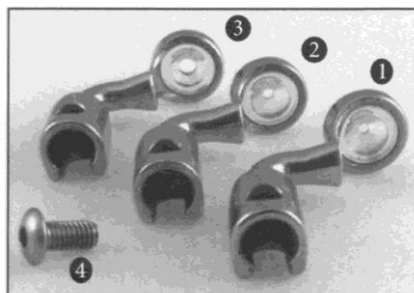
重要事項: カウチング押えをお買い上げ頂き有難うございます。ご使用のミシンに押え交換用アダプターが取り付けしていない場合は、押え交換用キットをご購入いただき、取り換える必要があります。詳しくはお取り扱い代理店にお問い合わせください。

キットに含まれるもの:

1. 1.5mm カウチング押え (QM10519)
2. 2.0mm カウチング押え (QM10521)
3. 3.0mm カウチング押え (QM10518)
4. M4 押え取り付けネジ

他に必要な工具:

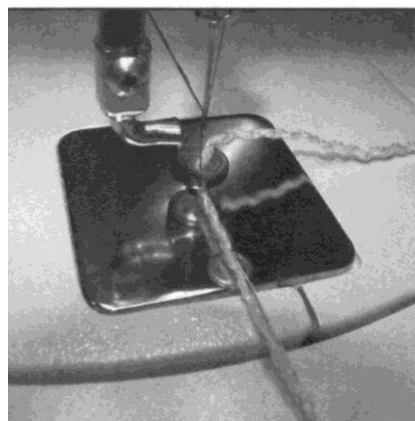
2.5mm 用 L 型六角レンチ (この工具は別売りの押え交換用キットに含まれています)



カウチング押えの使い方:

1. まず通常の方法で上糸に使う糸を掛けます。
2. カウチングに使う飾り紐やヤーンなどの太さに合わせてカウチング押えを選びます。カウチングする紐やヤーンを押えの穴に上から下に通します。

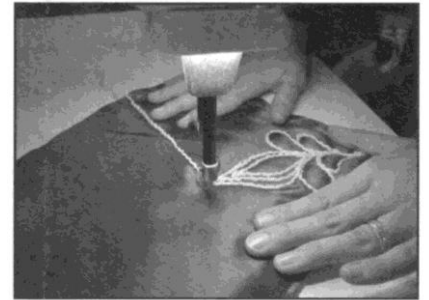
飾り紐やヤーンを押えに通すには、釣り糸のようなテグスやナイロン透明糸などを輪にして押えの穴に下から上に通し輪の部分に飾り糸を通してテグスを



下に引くと飾り紐やヤーンを簡単に押えの穴に通すことができます。

または、飾り紐やヤーンを押えの穴の中心に掛かるように押えの上に置き、その上を針で1~2針縫って布をずらせると飾り紐やヤーンを押えの穴に通すことができます。

3. 縫い始めましょう。布を動かすと飾り紐が上糸で縫いつけられてカウチングできます。



カウチング押えの上手な使い方:

HQ カウチング押えは、卓上型のロングアームミシンでも、フレーム式のロングアームミシンでもお使いいただけます。

- 細い飾り紐やヤーンには 1.5mm または 2.0mm のカウチング押えを使いましょう。
- 紐がカウチング押えの穴をスムーズに通らなければ、紐が引っ張られて上糸が紐を安定して縫うことができずにカウチングが浮いてしまいます。逆に、押えの穴が紐の太さに対して太すぎると、同じことが起こります。押えを代えて紐の太さに合った押えを使いましょう。
- また、ソーイングスピードも大切です。あまり早く布を動かすと糸がカウチング紐から外れてうまく縫えません。
- カウチング紐が引っ張られないように常に紐がたるんだ状態でカウチング出来るように気をつけましょう。
- 一度カウチングがスタートすると、紐をガイドする必要はなく、布を動かすだけで紐は付いてきます。大切なことは、安定したスピードで、早すぎず、また急な動作をしないで、次に縫う方向を見定めながらゆったりとカウチングしてください。
- カウチング紐がねじれたり、絡んだりしないように注意してください。
- 上糸に使う糸はカウチング紐と同系の色を使ったり、特殊な効果を狙うときにはコントラストのある色を使ったりします。

ハンディキルトカウチング押え

版權: 株式会社ハンディキルター

2013年11月13日